

脳神経外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	くも膜下出血後脳血管攣縮に対するクラゾセンタンナトリウム（ピブラッツ）の治療成績の検討
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	（所属）脳神経外科講座 （職名）講師 （氏名）川口礼雄
研究の対象となる方	2020年4月から2028年8月の期間に動脈瘤破裂によるくも膜下出血にて手術（直達術、血管内治療）を行い、脳血管攣縮予防にクラゾセンタンナトリウム（ピブラッツ）もしくは塩酸ファルジル（エリル）を使用した患者さん。
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028年12月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 脳血管攣縮予防薬である塩酸ファスジル（エリル）およびクラゾセンタンNa（ピブラッツ）の治療成績と適応患者さんに関して検討を行います。 〔利用方法〕 電子カルテより年齢、性別、動脈瘤の局在、治療方法、使用薬剤、術後合併症、退院時の状態などを診療情報より取得し、治療成績の検討を行います。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：電子カルテより年齢、性別、動脈瘤の局在、治療方法、使用薬剤、術後合併症、退院時の状態等を収集します。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028年11月30日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学 脳神経外科学講座 担当者：(職名) 講師 (氏名) 川口礼雄 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22138)